

「セミ男」 short short

2023/08/07 松田光葵

◆登場人物◆

セミ男

セミ子



とある木にセミ男は木にしがみついて鳴いている。

『みーんみーん』と鳴くかのように『生まれた喜び』と鳴いている。

ナレーション「彼の名はセミ男。オスのセミである。セミ男は今日で生まれて七日目。今日も自分の居場所がここだと鳴いている。」

タイトル『セミ男』のテロップ

セミ男「生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び——」

セミ子「しんどくないですか？」

セミ男「いや、まだ鳴ける。」

セミ子「七日目ですよね？」

セミ男「うん。でも僕が鳴かなきゃ誰が鳴く。僕がいなくちゃきつと寂しい夏になるだろ？うん、僕しかないんだよ！」

生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び生まれた喜び——」

セミ子「…僕しかないですか。」

セミ子木にしがみつき鳴かずにセミ男を眺める。

セミ男、ゆっくり地面に仰向けにうづくまる。苦しそうに、セリフ

セミ男「生まれた喜び生まれた喜び生まれた——」

セミ男の足が閉じる。彼は一生を終えたのだ。

セミ子「代わりなんかいくらでもいるのに。みーんみんみんみーん」

セミ男、安らかな顔で眠っている。

終劇